（別紙３）

# 公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | ひまわりばんび | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年12月4日 | | ～ | 2025年1月20日 |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 16 | （回答者数） | 8 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年12月4日 | | ～ | 2025年1月20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 6 | （回答者数） | 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年2月5日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ・少ない職員数だからこそ常に同じ職員が利用児様と関わり、愛着形成を確立することができる。また利用児様が安心して過ごすことのできる家庭的な環境を提供することができる。 | ・職員も子どもたちと一緒に遊び、時には玩具の貸し借りなどのルールを知らせながら、いずれは子ども同士が上手にやりとりができるようになることを目標に日々仲立ちをしている。 | ・利用児様の要求を見逃さないように常に目を配り、時には甘えたい気持ちにも応じながら、更なる愛着形成ができるようにしていく。<br>そのためには保護者様との連携、情報の共有が不可欠。送迎時や連絡帳、LINEなどを使って保護者様とも些細なことでも伝え合えるような関係性を築いていく。 |
| 2 | ・季節に沿った活動や遊びを通して利用児様がいろいろな経験、体験ができるように支援している。 | 常に利用児様に目を向け、今興味があること、好きなことを見逃さないように意識している。<br>それに合った活動や遊びの提供、また季節にあったイベントを提供している。<br>遊びを通して楽しく取り組むことでいつの間にかできるようになって利用児様の自信に繋がっていくことがねらい。 | ・活動が偏らないように、職員それぞれの得意分野を生かしたプログラムを提供するようにしている。 |
| 3 | ・利用児様が怪我なく笑顔で帰宅することが保護者様の安心・信頼に繋がると考えているので、安全に配慮した環境、サービスの提供に努めている。 | ・戸外活動では手厚い人員配置をし、事故防止に心掛けている。また利用児様が使う部屋を毎日の掃除をして清潔に保つ、玩具を最低限に設置することで子どもがのびのびと身体を動かして遊べる環境の提供、玩具の消毒をすることで同時に破損している玩具はないか、確認することができている。<br><br>・ブログを発信することで普段の文字だけの連絡帳だけでは伝わらない利用児様の表情なども保護者様に見ていただけている。 | ・利用児様が主体的に遊びを見つけたり、創造できるような環境。落ち着いてじっくり遊びたい子、身体を使って遊びたい子がそれぞれで安全に楽しめる環境設定の構築。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ・朝から1日利用児様をお預かりしていることもあり、なかなか職員会議や職員研修などを実施する時間がない。常勤職員はともかく、非常勤職員への情報の落とし込みが難しい。 | ・サービス提供時間が長いこともあるが、利用児様が増員するとともに送迎の距離、時間も増す。開所前・閉所後ともにチャイルドシート・ジュニアシートの設置といった送迎車両の準備、連絡帳の入力業務に追われてその他の業務に取り組む時間があまりない。<br>・最近は保護者様送迎の利用児様に職員が要するので日常の業務に取り掛かれないことも出てきている。 | 会議を開催する際は全職員に事前に連絡をし、勤務時間を超過して参加してもらっている。<br>しかし非常勤職員には参加してもらうことの難しさがあり、議事録の掲示といった対応で情報共有に努めている。 |
| 2 | ・経験の浅い職員が多く、意識レベルの差、支援方法にバラつきを感じることがある。活動内容も「ねらい」がなく、ただ利用児様が楽しむだけになっていることがある。 | ・経験不足、知識不足、活動の準備時間が確保できない。 | ・職員会議では「1人1事例1発言はする」ようにグランドルールを設けて職員それぞれが考える時間を設けるようにしている。また他職員の支援方法や活動内容にも目を配り、時には助言をして支援の質の向上を目指している。 |
| 3 | ・保護者会といった保護者様同士が交流できるといった機会がない。 | ・日々の業務に追われて開催する時間がないこと、それに伴っての職員配置、駐車場の確保といった様々なところで問題が生じてしまう。 | ・現時点で保護者会などの開催は難しいが、保護者様が気軽に見学に来ていただけるようではありたいと思う。<br>・月1回のお便り配布やブログで時には子育てに関するコラムなどを発信して保護者様支援も意識するようにしている。<br>・年1回3事業所で発表会を開催している。せっかく多くの保護者様が集まる機会なので、そこで保護者様同士が交流できるような企画を提供できるといいのかもしれない。来年度検討する。 |